

等には、満員は中頃からであったことと思つた。彼は力大
大の偉大に驚く。

総選挙ゴシップ

▲加藤勤十郎 (東京第四区)

(1) 加藤事務所に於ては、米、薪炭が毎日、車に積んで
の労働者によつて運ばれて来る。労働者の一隊は(多数)
日寄附示威運動と稱して、五反田の社に廻つてから
事務所にへくるので、交下警官と衝突
(2) 町の有志は名刺に指印紙幣一枚をつけて、日暮等は
賣下を支持す。選挙費は選挙民の負擔するべきを信じて
一票にっき指印紙を寄附す。×××××とくる。加藤
君、この度お毎に頭を直角に下げた。

▲浅沼稻次郎 (東京第四区)

◎ 三宅 八丈嶋の有志は浅沼の老父を中心にして浅沼の
選挙寄附として名産の木炭と播油を送り来た。

よつて京橋、東京汽船会社の前の寶屋旅館を本部に
炭と油の大賣り出しをやりつた。

◎ 浅沼事務所 (深川区豊住町一六一) には江東の先
業者が大衆應援に来た。そして一日に一斗に澤
庵二十本の飯をたへらげておる!

◎ 浅沼の人氣は冲天で、早くも獨身者ぞといふので
娘さんの應援申込續々来る。

▲九月十二日の川俣候補 (秋田)

川俣君 (秋田第二区) 保証金は選挙区の党員が出し合
つて出来たが本人は運動費が亦く、タツタ九十二日を
持つて選挙区へ馳けつけた。

▲大衆党区支部 (東京第一区、河野候補)

大衆党区支部の党員は既成政党的郵便物に恐れを
し各々に賦税を曰く、既成政党的郵便物一切を断り出